



平成 30 年 2 月 19 日
津田沼高校 保健室

立春は過ぎましたが、まだまだ凍える日が続いています。立春を過ぎて最初に吹く強い南風は『春一番』と呼ばれます。春の訪れを感じさせるネーミングですね。この季節、花粉が飛び始める時期でもあり、まだインフルエンザも安心できません、体調管理に気をつけましょう。春はもうすぐ♡

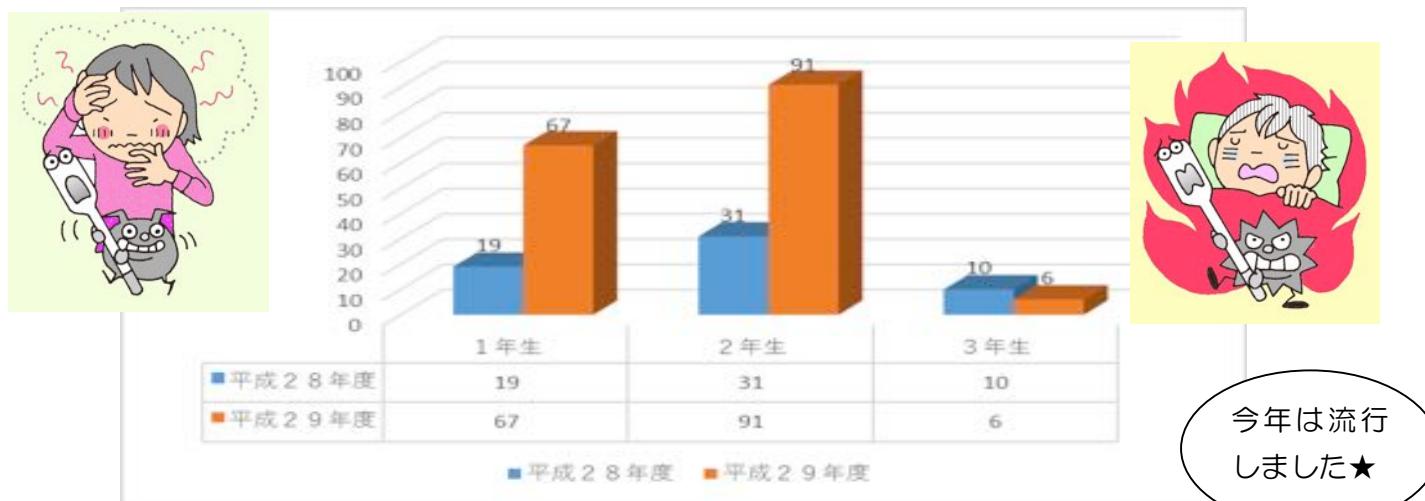
津田沼高校インフルエンザ大流行！！

冬休み明けから、インフルエンザの嵐が吹き荒れました。例年と違い、インフルエンザ A 型と B 型が同時に流行しました。例年人数の少ない B 型もほぼ同数でした。また、続けて感染性胃腸炎に罹患した人、AB 型両方に罹患した人なども見られ、いつもと違うぞ…という印象でした。感染者がなぜこんなに増えたのでしょうか？今年は感染者が多いといいますが・・・。

下表の 3 年生を見てください、素晴らしいことに、昨年度より罹患者数は減っています。これは、3 年生がひとりひとりが自分で、予防を心がけていたから、この数字だったのではないでしょか。1, 2 年生は予防を心がけていましたか？

「自分ことは自分で守る」是非考えてみてください！！

前年対比 12 月～1 月までの感染者数（インフルエンザ以外の感染症も含む）



今年は流行しました★

インフルエンザウィルスを知ろう！

知っていますか？ インフルエンザウィルスの型には A 型・B 型・C 型があります

A型

人・鳥・豚・馬に感染する。唯一人以外に感染するインフルエンザ。感染力が強く、症状は急激で激しい。ウィルスの形が多様に変異するため、様々な種類が存在し、ウィルスは、100 種類以上あります。変異したウィルスに対しては、免疫が無い為、何度も感染することがあります。



B型

人にのみ感染する。感染力は強いが、熱が上がらないこともあります。風邪と間違えることがある。免疫を持った人が多い為 A 型ほど流行しない。人にしか感染しないので型の変異が少なく、爆発的な流行はありません。

C型

人にのみ感染する。A・B 型はまったく違い、主に 5 歳以下の小児に感染して軽い風邪症状。1 度かかると免疫が持続し、2 度かかるることは、ほとんどありません。

ウイルスや細菌は、こんな方法で感染します



2月1日（木）教室の環境衛生検査をしました

みなさんの教室が勉強するのに、適している環境かどうか、学校薬剤師の先生に、環境衛生検査をしていただきました。



場所		測定結果		判定	基準数値
外		くもり			
教室 37名	天氣	18.0°C	○	冬は 18°C~20°C	
	気温	50 %	○		30%~80%
	湿度	授業開始 15 分後 *廊下側天窓 2 か所少し開	2000PPM	×	1500PPM 以下
	二酸化炭素	授業開始 30 分後 *廊下側天窓 2、庭側窓 1 開	3000PPM	×	

二酸化炭素の数値についてお話しします。授業開始時廊下側の天窓が前後空いていましたが、換気が不十分の為、二酸化炭素に非常に高い数値がでした。

この数値では気分が不快になったり、頭痛・眠気を感じたり、集中力が下がり、せっかくの授業も学習効果は上がりません。

そして、風邪やインフルエンザの大好きな環境です。休み時間は窓を開け

